

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>令和5年3月時点での人口は約20,000人となっており、うち高齢者(65歳以上)人口は約4,700人、高齢化率は23.24%と中区全体(23.60%)とほぼ同水準である一方、年少人口(~14歳)は13.15%で中区全体(9.68%)に比べ高くなっています。こうした傾向は集合住宅の開発等により新たなコミュニティが形成され、若い世代の住民層が増えたことが要因と考えられます。高齢化の進展と同時に将来を担う子ども世代の増加も予測され、こうした地域コミュニティの変化に対し、高齢者、子育て、障害者支援等、課題解決に向け、あらゆる切り口から柔軟な取り組みが必要であると考えます。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><b>【相談・支援】</b> 地域の身近な相談窓口であることを地域に出向き発信します。発信にあたってはSNSなども活用していきます。対象を問わず相談対応を行い、関係機関にスムーズにつなげます。基幹相談などと密に連携を行い、相談に対応していきます。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><b>【社会資源の開拓・開発・支援】</b> 個別レベル、包括レベルの地域ケア会議を開催します。地域サロンへ積極的に参加し、情報収集を行います。福祉関係のネットワークに捉われず、幅広い視点でネットワークを広げます。広報紙、SNSを活用して事業の情報発信を行い、支援者を広げていきます。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><b>【地域ケアプラザの場を生かした支援】</b> ケアプラザ祭りを今年度も開催して、ケアプラザからの発信、地域からの発信と住民同士が交流できる機会を設けます。国際交流ラウンジ等と連携し、多文化に触れる機会を設けます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p><b>【認知症支援事業】</b> 地域のキャラバンメイトと連携し、若年層への認知症サポーター養成講座を開催し、普及啓発を行います。地域のキャラバンメイトのネットワークを強化し、グループ化を目指します。介護者のつどいを定期的で開催することにより、介護者の介護負担軽減を図れる場としていきます。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><b>【在宅医療・介護連携推進事業】</b> 個別ケース相談を通じて在宅医療について情報提供を行います。ケアプラザ協力医、在宅医療連携拠点、医療機関等と連携を図り、情報共有、発信を行います。介護予防事業等の場でACP(人生会議)や「もしも手帳」について紹介し、意識を高めていきます。</p>
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		

# 令和6年度本牧和田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上、全職員対象に公正・中立に関する研修を行います。</li> <li>・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上、全職員対象に事故防止・個人情報保護に関する研修を行います。</li> <li>・業務マニュアルの定期的な見直しを行い、再発防止に取り組みます。</li> </ul>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が介護予防についての目的や目標を理解し、その目標達成のために必要なサービスや手段を活用して、目標達成に取り組めるような計画を作成し実行することができる。	介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅で自立した日常生活をおくるため、必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者および家族の選択に基づいた計画を作成し、実行できる。
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b> なし	<b>【その他料金】</b>
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)1名、 社会福祉士1名、 看護師1名	主任介護支援専門員(管理者兼務)1名 主任介護支援専門員3名
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。		
実施体制	<b>【実施日数】</b> 週6日 <b>【提供時間】</b> 9:30~16:30 <b>【定員】</b> 35名	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b> 食事代820円(おやつ代100円含む)	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>
職員体制	管理者1名・生活相談員3名 介護職員21名(相談員兼務・運転手兼務含む) 看護師兼機能訓練指導員4名		
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和6年度「本牧和田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,828,239		16,828,239		16,828,239	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	38,000		38,000		38,000	
雑入	7,000	0	7,000	0	7,000	
印刷代	7,000		7,000		7,000	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他			0		0	
収入合計	16,873,239	0	16,873,239	0	16,873,239	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,270,000	0	10,270,000	0	10,270,000	
本俸	8,221,000		8,221,000		8,221,000	
社会保険料	1,018,000		1,018,000		1,018,000	
手当計	853,000		853,000		853,000	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	112,000		112,000		112,000	
その他	24,000		24,000		24,000	
事務費	902,000	0	902,000	0	902,000	
旅費	2,000		2,000		2,000	
消耗品費	164,000		164,000		164,000	
会議賄い費	36,000		36,000		36,000	
印刷製本費	16,000		16,000		16,000	
通信費	171,000		171,000		171,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000		10,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	0		0		0	
手数料	3,000		3,000		3,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	500,000		500,000		500,000	
事業費	430,000	0	430,000	0	430,000	
運営協議会経費	10,000		10,000		10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	420,000		420,000		420,000	
その他			0		0	
管理費	2,821,000	0	2,821,000	0	2,821,000	
光熱水費	1,906,000		1,906,000		1,906,000	
清掃費	206,000		206,000		206,000	
機械警備費	88,000		88,000		88,000	
設備保全費	483,000	0	483,000	0	483,000	
空調衛生設備保守	58,000		58,000		58,000	
消防設備保守	56,000		56,000		56,000	
電気設備保守	139,000		139,000		139,000	
害虫駆除清掃保守	55,000		55,000		55,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	175,000		175,000		175,000	
共益費	138,000		138,000		138,000	
その他	0		0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	1,937,739		1,937,739		1,937,739	
支出合計	16,873,239	0	16,873,239	0	16,873,239	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	38,000	0	38,000	0	38,000	
自主事業費 支出	420,000	0	420,000	0	420,000	
自主事業 収支	△ 382,000	0	△ 382,000	0	△ 382,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「本牧和田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,374,519		24,374,519		24,374,519	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,891,773		5,891,773		5,891,773	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,983,708		1,983,708	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,983,708		1,983,708		1,983,708	
収入合計	32,404,000	0	32,404,000	0	32,404,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,673,000	0	28,673,000	0	28,673,000	
本俸	22,814,000		22,814,000		22,814,000	
社会保険料	3,758,000		3,758,000		3,758,000	
手当計	1,555,000		1,555,000		1,555,000	
健康診断費	43,000		43,000		43,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	495,000		495,000		495,000	
その他	8,000		8,000		8,000	
事務費	252,000	0	252,000	0	252,000	
旅費	3,000		3,000		3,000	
消耗品費	9,000		9,000		9,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	10,000		10,000		10,000	
通信費	127,000		127,000		127,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000		10,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	93,000		93,000		93,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	877,000	0	877,000	0	877,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	53,000		53,000		53,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	40,000		40,000		40,000	
その他			0		0	
管理費	2,476,000	0	2,476,000	0	2,476,000	
光熱水費	504,000		504,000		504,000	
清掃費	1,775,000		1,775,000		1,775,000	
機械整備費	23,000		23,000		23,000	
設備保全費	137,000	0	137,000	0	137,000	
空調衛生設備保守	16,000		16,000		16,000	
消防設備保守	15,000		15,000		15,000	
電気設備保守	37,000		37,000		37,000	
害虫駆除清掃保守	15,000		15,000		15,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	54,000		54,000		54,000	
共益費	37,000		37,000		37,000	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	32,404,000	0	32,404,000	0	32,404,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	247,000	0	247,000	0	247,000	
自主事業 収支	△ 247,000	0	△ 247,000	0	△ 247,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:本牧和田地域ケアプラザ

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	409		409	468		468	22,872		22,872	66,814		66,814	2,717		2,717
その他	0	0	0	0	0	0	475	0	475	16,408	0	16,408	813	0	813
事業・負担金収入			0			0			0	13,335		13,335	813		813
受託収入			0			0	475		475			0			0
施設使用料相当額			0			0			0			0			0
利用者等外給食費収入			0			0			0	206		206			0
拠点区分間繰入金収入			0			0			0	934		934			0
その他			0			0			0	1,933		1,933			0
収入合計(A)	409	0	409	468	0	468	23,347	0	23,347	83,222	0	83,222	3,530	0	3,530
支出															
人件費			0			0	18,674		18,674	58,710		58,710			0
事務費			0			0	476		476	4,626		4,626			0
事業費			0			0	33		33	6,458		6,458			0
管理費			0			0	250		250	11,683		11,683			0
その他			0	0	0	0	121	0	121	8,784	0	8,784	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0	3,420		3,420			0
固定資産(電動自転車)			0			0	121		121			0			0
利用者等外給食費支出			0			0			0	206		206			0
拠点区分間長期借入金返済			0			0			0	3,000		3,000			0
拠点区分間繰入金支出			0			0			0	1,070		1,070			0
その他			0			0			0	1,088		1,088			0
支出合計(B)	0	0	0	0	0	0	19,554	0	19,554	90,261	0	90,261	0	0	0
収支 (A)-(B)	409	0	409	468	0	468	3,793	0	3,793	-7,039	0	-7,039	3,530	0	3,530

※介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症予防 学習・交流サロン「なごみ」	H22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音読、計算等を行う学習時間と参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。	1:高齢者	5:地域	音読・計算等を行う学習プログラム ・参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流・情報交換 ・健康な生活を送るための情報提供		
2	子育てサロン	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント等の情報提供を通し、養育者の孤立を予防する。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	子育て中の親子が集えるサロン形式で実施。主任児童委員、民生委員児童委員と連携して運営する。 通年:毎月第3木曜日		
3	Wa! サロンDa	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	子どもから高齢者まで世代関係なく、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指す。またボランティア等の活動を支援する。	5:地域	6:事業者	5職種共催で行う、「誰もが立ち寄れるサロン」として開催。地域で活動する団体等をゲストとして招き、講話等を行うこともある。 通年:毎月第3水曜日 13:30から15:00		
4	「ほんもくセラセラ」と楽しく歌いましょう!	H30	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽や運動を通じた身体の活性化や仲間づくりを目的としている。	5:地域		唱歌や懐メロをみんなで歌ったり、脳トレと運動を組み合わせた「コグニサイズ」を行う		
5	味噌づくり講座	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	味噌づくり体験を通じた参加者同士の地域交流や、食の学びを目的としている。	5:地域		講師の指導のもと味噌づくり体験を行う		
6	UVレジンのキーホルダーづくり	R4	2:地域活動交流事業	2:優先的に取り組み	夏休みの時期に小学生を対象に、イベントを実施し、学齢期の子ども達にケアプラザに足を運んでもらう。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	UVレジンを使用し、キーホルダーづくりを行う		
7	料理教室 (キッズ防災ランチ)	R4	3:地域活動交流事業	3:優先的に取り組み	防災食をテーマに、災害時でも活用できる調理法や栄養について学ぶ。男性対象、小学生対象など、対象に応じた調理を検討していく。	7:地域		①栄養に関する講話 ②防災食を作る 10月は、小学生向けの「キッズ防災ランチ」		
8	ボランティア活動支援	H20	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域でボランティア活動をする人、また活動したい人を支援する。また受け入れ団体と結び付けることで、地域づくりに繋げる	5:地域		新規ボランティアの募集と登録。受入希望団体等のリスト作成。受入先とのコーディネート		
9	本牧中学校 「ボランティアの会」 活動支援	H23	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学生がボランティア活動を通じて、地域で誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを学ぶ機会作り。また自分たちが出来ることを実践する機会を提供する。	4:子ども・青少年		本牧中学校ボランティアの会への参加ボランティア活動への参加の呼びかけボランティア活動の場の調整と提供。活動時の支援等。		
10	中学校・高等学校 実習受け入れ (福祉体験学習) (職業体験学習)	H21	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉施設での職業体験を通して、誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを学ぶ。自身で支援出来ることを見つけて実践しようとする気持ちを育てる。福祉施設を利用しようとする人の思いや願を理解する。	4:子ども・青少年		施設見学、事業内容概要説明のオリエンテーション。 車椅子体験やデイサービスでの話し相手等の福祉体験学習を実施する。		
11	世代間交流会	H18	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	世代を越えた交流を通じ、地域で支え合い、挨拶や見守り等をし合える関係が構築できる。	1:高齢者	4:子ども・青少年	①本牧中学校ボランティアの会と間門荒井の老人会(間門さくら会)との交流会(合唱発表やレクリエーション)を実施。 ②小学校の放課後居場所事業「放課後キッズクラブ」と連携し児童と高齢者等、異世代が関わる事ができる場を実施する		
12	・本牧・根岸地区社協 一人暮らし高齢者食事会 ・本牧三之谷茶話会 ・元町南部食事会 ・大里カフェ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方との顔の見える関係づくり。また、地域の方との連携強化推進。合わせてケアプラザ事業や地域包括支援センターの周知	1:高齢者	5:地域	地域の活動や行事へ参加すること等を通して福祉・保健等の情報提供や周知を行う。また個別相談等へ繋がる機会を提供する。		
13	広報誌「本牧和田地域ケアプラザ通信」 ホームページ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域福祉・保健関連の情報や地域ケアプラザの事業、ボランティアや地域団体の活動等を地域住民に情報発信し、地域福祉活動への参加促進につながることを目的としている。	5:地域		地域の活動や健康づくり、仲間づくり等の情報、地域ケアプラザの事業や地域団体の活動等を掲載する。自主事業の予定をカレンダー形式で情報提供する。町内会自治会への配布、圏域内の小中学校や障害者福祉施設、介護保険事業所等への配布をしている。		
14	GoGo健康! 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧いきいき講座」	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の普及啓発と活動支援。フレイル予防に関する講座。年間を通して実施し、地域の高齢者が気軽に通える介護予防の場を目指す。	1:高齢者	5:地域	本牧和田CPを会場とし、年間13回(フレイル予防、ロコモ予防、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防)第3火曜 13:30~15:00		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	GoGo健康！ 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「からだリフレッシュ体操」	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の普及啓発と活動支援。フレイル予防に関する講座。連続3回講座。高齢者にも無理なくできるゆっくりとした動きでストレッチを行い、音楽に合わせたリズム体操でロコモ予防につなげる。特定の項目を設けることで、興味の合う参加者同士が集まり、交流が活発になることを目指す。	1:高齢者	5:地域	本牧和田CPを会場とする。3回講座。地域の運動講師に依頼。基本的に3回とも参加できる参加者を募集する。上半期に実施予定。		
16	GoGo健康！ 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧けんこう太極拳」	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の普及啓発と活動支援。フレイル予防に関する講座。連続3回講座。高齢者にも無理なくできるゆっくりとした動きの太極拳でロコモ予防につなげる。特定の項目を設けることで、興味の合う参加者同士が集まり、交流が活発になることを目指す。	1:高齢者	5:地域	本牧和田CPを会場とする。3回講座。地域の運動講師に依頼。単発での参加も可能とし、幅広い参加者を募集。地域の方の交流の場づくりを目指す。下半期に実施。		
17	グリーンサロン	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアの高齢者住宅で実施。住民の交流、相談窓口、介護予防を目的とする。今後は住宅住民だけでなく、近隣住民にも対象者を広げていくことを目指す。	1:高齢者	5:地域	奇数月の第4木曜日に実施。内容に関しては、住宅住民から毎回要望を受け付けている。介護保険や在宅医療に関する講座や、介護予防体操の講座など多岐にわたる。		
18	介護者のつらい「カフェはれやか」	H26	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の介護者を対象に、日ごろの介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ介護者同士で交流することや、在宅介護の継続、一人で抱え込まない介護を目指す。	1:高齢者	5:地域	偶数月の第4金曜日に実施。介護者が在宅介護についての悩み等を話し合い、情報交換を行う。介護者が精神的にリラックスできるような講座の実施を予定。		
19	認知症サポーター養成講座	H25	7:共催（1と2と3）	2:発展させるねらい	認知症になっても住み慣れた地域で安心してその人らしく生活するために、地域住民等に向けて認知症の正しい知識と対応方法等を理解してもらう。	5:地域	6:事業者	①地域のキャラバンメイトと協力し養成講座を実施。②地域の団体等や小中学校に向けて、講座開催の案内をする。③サポーター養成講座を修了した人が活動する場の提供。		
20	地域ケア会議	H26	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で安心してその人らしく生活することができるような仕組みを作るため、地域ネットワークの構築強化。	1:高齢者	5:地域	①個別レベル会議を通じて地域課題を把握する。(年2階程度)②包括レベル会議で地域課題を地域住民や多職種で検討する。(年1階程度)		
21	しめ縄づくり	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	友人同士や親子で参加される方もいるが、同じテーブルに居合わせた参加者同士での共同作業を通じた交流。ケアプラザの周知、また歴史講話を含めることによる男性の方の参加に期待も込めている。	1:高齢者	5:地域	八聖殿郷土資料館との共催事業 ①しめ縄作り ②本牧の歴史講話		
22	八聖殿 ものづくり体験	R5	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者の外出のきっかけとなるような社会参加・交流・居場所の場づくり	1:高齢者	5:地域	八聖殿郷土資料館との共催事業 夏休み実施予定		
23	望洋 太極拳	R5	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	高齢者の外出のきっかけとする。 ・家から徒歩で出かけられる場所で行う事で体力がない方も通う事ができる。 ・体力低下予防・介護予防につながる。 ・集いの場・交流の場・見守りへと繋がる。	1:高齢者	5:地域	望洋自治会との共催 6月より実施予定(仮)		
24	相続・遺言講座	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・相続・遺言についての基本知識について周知をする。 ・司法書士との個別相談機会を設けることで将来への不安や心配を和らげ、準備を行えるようにする。	1:高齢者	5:地域	10月に本牧和田CPを会場に司法書士による相続・遺言講座。基本知識から遺言書の書き方について周知。参加者に個別相談を実施。		
25	GoGo健康！ 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧けんこう講座」	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に健康について幅広く学んで頂き、健康習慣を身に付けてもらう	1:高齢者	5:地域	薬剤師の講師による講話。薬や食材、生活習慣など健康について。テーマは「冷え性を改善しよう」		
26	フラダンス体験会	R5	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・貸館団体のメンバー増員きっかけづくり ・フラダンスを通じた交流機会の創出	5:地域		9月、10月に計7回のフラダンス体験会		
27	元町南部Enjoyハイキング	R5	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者の外出のきっかけとなるような社会参加・交流・居場所の場づくり	1:高齢者	5:地域	八聖殿郷土資料館との共催事業 夏休み実施予定		
28	おやこで楽しく食育講座	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・おやこで楽しく「食」について学ぶ ・バランスのよい食事や「だし」の取り方を学んで毎日元気に過ごすきっかけとする	3:養育者及び乳幼児		バランスのよい食事についての講話、「だし」の取り方やレンチンレシピの紹介(ヘルスマイト) エブロンシアターや絵本の読み聞かせ(のんびりんこ)		
29	焼き芋交流会	R%	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・「アメリカ坂ふぁ～む」メンバーの地域交流・地域貢献活動 ・菜園活動や野菜を通じた、食の学びや近隣施設の交流機会の創出	5:地域		ふぁ～むで採れたサツマイモを活用し、近隣の保育園を招いて交流会。メンバーが焼き芋の準備を行い、園児と一緒に焼き芋を食べながら交流を図る。3R夢農園の紹介なども併せて行う。		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	認知症キッズサポーター養成講座	R5	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	エリア内の間門小学校 キッズクラブの児童を対象に、キッズサポーター養成講座を実施。認知症の理解と啓発を目的に、地域のキャラバンメイトと協働し事業を展開する。	5:地域		認知症について、講話と寸劇で説明。その他認知症クイズやサポーターの役割を紹介。地域の取り組みやCPの機能についての周知も行う。		